

鶴岡市総合計画審議会
第2回厚生専門委員会

平成30年5月18日

午後2時～

にこ♥ふる

3階 大会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 説 明

(1)「これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点」について

4 協 議

(1) 着眼点に対する施策の方向について

(2)その他

5 閉 会

資 料 一 覧

1 第2回鶴岡市総合計画審議会厚生専門委員会次第

2 鶴岡市総合計画審議会厚生専門委員会委員名簿

3 資料（事前配布）

1) 鶴岡市総合計画審議会第1回厚生専門委員会（会議概要）

2) これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点に対する各専門委員会及び地域振興懇談会での協議について

資料1

3) これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点

資料2

4) これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点に対する厚生専門委員会での協議・意見

資料3

鶴岡市総合計画審議会 厚生専門委員会

委員名簿

(5月18日現在)

あべ けいこ 阿部 恵子	前鶴岡市立荘内病院看護部長
あらかわ かずこ 荒澤 和子	前鶴岡市すこやかな子どもを生ま育てるネットワーク推進委員会会長
おの としたか 小野 俊孝	鶴岡地区医師会副会長
かまだ ごう 鎌田 剛	東北公益文科大学准教授
さくらい よしかず 櫻井 好和	前鶴岡市児童福祉審議会委員長
さとう いちゆう 佐藤 以中	社会福祉法人思恩会常務理事
さとう しおり 佐藤 しおり	前鶴岡市子育て支援推進委員会委員長
さとう しげかつ 佐藤 重勝	鶴岡市民生児童委員協議会連合会副会長
さとう みちこ 佐藤 満子	鶴岡市身体障害者福祉団体連合会会長
すずき のぶお 鈴木 伸男	鶴岡市健康なまちづくり推進協議会会長
たかはし こう 高橋 亨	鶴岡市民間立保育園協議会会長
ちだ ようこ 千田 洋子	鶴岡市保健衛生推進員会連合会会長
ちょうなん よしみ 長南 吉美	鶴岡市コミュニティ組織協議会会長
なんば たまき 難波 玉記	前鶴岡市社会福祉協議会会長
まえた ひとみ 前田 ひとみ	子育てデビューサポート事業「先輩ママ」

(五十音順 敬称略)

難波 玉記
委員長

[Empty box]

音響機器

入
口

前田 ひとみ
委員

長南 吉美
委員

千田 洋子
委員

高橋 亨
委員

鈴木 伸男
委員

佐藤 満子
委員

阿部 恵子
委員

荒澤 和子
委員

鎌田 剛
委員

櫻井 好和
委員

佐藤 しおり
委員

佐藤 重勝
委員

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

荘内病院
事務部参事

温海庁舎
支所長

朝日庁舎
支所長

副部会長
荘内病院事務部長

部会長
健康福祉部長

楡引庁舎
支所長

羽黒庁舎
支所長

藤島庁舎
支所長

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

荘内病院
総務課長

国保年金
課長

子ども家庭支援
センター所長

子育て推進
課長

長寿介護
課長

福祉課長

健康課
保健主幹

健康課長

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

荘内病院
施設管理主幹

政策企画課
課長補佐

政策企画課
主幹

温海庁舎
市民福祉課長

朝日庁舎
市民福祉課長

楡引庁舎
市民福祉課長

羽黒庁舎
市民福祉課長

藤島庁舎
市民福祉課長

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

地域振興課
専門員

政策企画課

政策企画課
専門員

政策企画課
主査

委員会
事務局

委員会
事務局

委員会
事務局

委員会
事務局

入

傍聴席

口

鶴岡市総合計画審議会 第1回厚生専門委員会（会議概要）

- 日 時 平成30年3月14日(水) 午後2時から
- 会 場 鶴岡アートフォーラム 大会議室
- 委員発言の概要

少子化対策の推進と健やかな子どもの育成

- ・子育て支援医療については、国の責任ある制度として行うよう医師会からも要望している。また、これら福祉医療制度が医療費の増大・引上げを誘引しているとの声もあるが、検証すると必ずしも要因とはならないようであることをお伝えしたい。
- ・障害児数について、資料に記載されているのは全体の一部であることを認識する必要がある。
- ・子育て支援の根本は「チルドレンファースト」であり、親・家庭の支援策も当然大事ではあるが、まずは子どもを第一に考えることである。
- ・放課後児童クラブについては、学校とはまた別に、子ども自身がルールを考え、つくる重要な場であるため、環境が悪化しているのであれば早急な対応が望まれる。
- ・Iターン、Uターン施策も大事であるが、「鶴岡生まれ」の子どもが増えてほしい。自らが生まれた場所を誇りに思えれば、きっと大事にするはずである。
- ・里帰出産について、一人目のときは上の子がいないので特段支障ないが、二人目以降の際は上の子の保育等が課題になるため、そういった対応ができるのであれば周知を進めるべきである。
- ・一貫した妊娠・出産・育児の支援体制が必要である。
- ・里帰出産について、鶴岡市独自の支援があってもよいと思われる。
- ・子育てに係る家庭の負担軽減もわかるが、ただ負担を減らすだけではなく、子どもの行事等を通じて子とともに親が育つことも大事ではないか。
- ・現在整備が進められる民間子育て支援施設について、例えば保育園行事で加茂水族館を利用する際に一回は無料となるように、保育園利用の際に一度は無料となる対応をしていただきたい。
- ・保育士が全体的に不足しているとともに、保育士養成機関に進む人数も減少しているため、市でもその対応に力を入れてほしい。
- ・市の子育て支援策が折角充実していながらも、これら制度を知らずに悩んでいる人も多いはずなので、もっと広くいきわたるよう周知を図るべきである。
- ・保育園を見てもひとり親家庭の割合増が顕著であり、子どもをただ産むだけでない、育てていくための教育が必要である。
- ・障害児については、未就学時点までは支援が手厚いものの、小学校へ上がると先生が一人しかいないなど支援が手薄となり、結果として学校が嫌になるという事例もよく見受けられるため、就学以降の支援についても更なる配慮が求められる。
- ・学童保育施設の老朽化が著しいため、市の十分な対応を望む。

こころと体の健康増進

- ・がんの早期発見、治療のためにはがん検診を受診することにほかならないが、依然として受診率は低い模様である。また、職域で受診環境の良い企業や公務員以外、例として自営・農業等国保被保険者などは特に低いのではないか。
- ・全国的に子どもの時からのがん教育が始まっており、国のがん対策基本法により、市としても必要に迫られるため準備を進めていただきたい。
- ・がん検診の受診率については、受診したい意向があっても日程や物理的に受けられない方も多いのではないか。日程や会場等キャパを増やすこともよいのではないか。
- ・禁煙についてもっと強く打ち出すとともに、煙草の害についても更に声を上げていくべきである。
- ・保健衛生推進員の活動においても個人情報保護が足枷となっているため、個人情報の取扱をもっと柔軟にさせていただくことによって、推進員の仕事もやりやすくなると思われる。

温かい福祉の地域づくり

- ・民生委員の研修会においても、本日説明いただいたような市の取組を教えていただく機会があれば、何よりも有益な場となるのではないか。
- ・民生委員に対する個人情報の取扱について、個人情報保護等の重要性は理解できるが、地域の住民の安否等守っていくためには的確な情報把握が必須であるため、更なる情報提供が可能となるようご配慮いただきたい。

障害者の自立生活の実現

- ・障害者差別への対応について、どのように進めていくか盛り込んだ施策を期待する。

医療の提供体制の充実

- ・出産可能な医療機関が少なくなっていることが危惧される。
- ・救急医療にあたる医師の半数以上が65歳以上であり、医師会における医療体制も今後ますます厳しさを増すことと見込まれる。
- ・医師不足について、荘内病院で長らく見ていただいていた先生が、頻繁に替わってしまう現状があるため、市民の健康増進の観点からも医師確保には是非努めていただきたい。
- ・新規に医師を増やす、呼ぶというのは大変なことであるが、今いる医師から出て行かれないよう、待遇・環境面等を大事にするという視点も必要である。
- ・夜勤対応できる看護師が全体に少ないため、一部の看護師に夜勤が集中してしまい、それが原因で離職する例も多い。また、夜勤手当も全然上がっておらず、看護を確保するために看護師から選ばれる病院とならなければならない。
- ・病院だけでは為しえないものも多いので、市をはじめ行政の支援が必要である。

その他

- ・働く場所がないと言われるが、実際には医療・介護の現場では人が足りておらず、それは給与・

賃金等併せて待遇・環境が悪いからである。

- ・行政においても福祉の現場を前向きに確認していただきたい。
- ・今般の資料にもいえるが、市の取組について「実施した」だけではなく、実施による結果・成果を示すことが重要であるため、そのように示していただくことを望む。
- ・学校への出前講座で命の大切さを実感する生徒も多いので、引き続き努めていただきたい。
- ・医療、介護、福祉等は市がもっと一枚岩になり横断的にやってみてはどうか。また、例として、チェーン店の薬剤師ながらも鶴岡への勤務を機に定着した人もいるので、魅力ある地域特性を活かして、鶴岡市で働く魅力をもっとアピールしてはどうか。
- ・病院をはじめ医療従事者は大変な苦勞をされているなか、今度は市民自らが自分たちの病院を守るというイメージを持つことが必要ではないか。
- ・現行計画では行政のみが施策を行うという体で記載されているが、これでは、市民の観点からは全て行政がやってくれるものだ、という認識にしかならない。次の10年間では、市だけではなく、市民も何をやるか、その役割等を整理して記載することが重要ではないか。
- ・福祉と教育は別々ではなく、相互に連携して進めるべきである。

これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点に対する
各専門委員会及び地域振興懇談会での協議について

1. 第2回企画専門委員会（4月26日）の報告

（1）まちづくりの重視すべき着眼点

企画専門委員会では次期総合計画基本構想につながる「まちづくりの基本方針」・「基本政策」・「本市の主要な課題」の検討のほか、各専門委員会の「施策の方向」の取りまとめに生かすため、これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点（別紙）を各専門分野での議論の切り口としてまとめました。

この着眼点の作成にあたっては、①情勢の変化 ②市民ワークショップ参加者の意見 ③総合計画審議会・各専門委員会の意見等を踏まえて作成しています。

（2）目標の設定

また、企画専門委員会では前回計画が計画期間内での計画内容の達成状況が確認しづらいことから、具体的な目標を設定し、後年に達成の検証ができるようにすべきと考えます。

2. 各専門委員会及び地域振興懇談会での協議事項

（1）着眼点に対する各委員の意見集約

各専門委員会及び地域振興懇談会においては、担当の分野ごとに企画専門委員会がまとめた着眼点を踏まえ、着眼点ごとに現状・課題、施策の方向性について委員それぞれの識見からご意見をお願いします。

なお、着眼点については、各専門委員会で絞って重点的に話をしても構いませんし、また、お示しした以外に新たな着眼点を加えてご議論いただいても構いません。

（2）分野別の施策への反映

頂戴したご意見については、事務局において整理をし、総合計画分野別の施策の骨子（施策の方向性〔節〕、主な施策〔細節〕）に反映をいたします。

これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点

○挑戦でき、人をひきつけ投資を呼び込める環境の整備

[文化や伝統など確立されたものを大切にしつつ、新しいことに挑戦ができる環境、人を惹きつけ投資を呼び込める環境が発展につながる]

○人づくりによる人材の確保

[郷土愛を育てることで定着を図りながら、魅力ある教育の実践がより多くの人材の確保につながる]

○交流人口を増やす施策の実施

[様々な人の受入れを進めるとともに、あらゆる施策で市民の満足度を高め、他所にいかなくて済む生活を実現すること、交流人口を増やすことが人口減少社会の対応につながる]

○若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが活躍できる地域社会の構築

[若者、子育て世代に選ばれるまちを目指すとともに、高齢者、障害者に優しく、誰もが活躍できる社会の構築が地域の発展につながる]

○内的豊かさを重視し豊かな自然と歴史、文化を伝承

[精神的な豊かさの実現を見直し、特有の自然、文化、歴史を大切にすることが地域の価値を高め、発展につながる]

○「循環」をキーワードとして重視

[人やエネルギーなどの循環はもちろん、あらゆる施策で循環を意識することで円滑な社会の発展につながる]

○対応から本格的国際都市へのシフト

[地方都市においてはグローバル化、国際化への対応にとどまらず、より本格的な国際化に踏み込むことが創造的な社会づくりにつながる]

○コンパクト＋ネットワークによる自立分散型社会の実現

[コンパクトなまちづくりを進め中心市街地の空洞化の防止をはかるとともに地域の個性を活かすためネットワークの構築をはかることが自立分散型のまちづくりにつながる]

○オンリーワンを目指すプロジェクトの実施

[個性を重視し、質の高い未来志向のプロジェクトを実施することが具体的で市民にわかりやすい計画づくりにつながる]

これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点に対する
 () 専門委員会 / () 地域振興懇談会での協議・意見

項 目	○挑戦でき、人をひきつけ投資を呼び込める環境の整備
現状課題	
施策の方向	
項 目	○人づくりによる人材の確保
現状課題	
施策の方向	
項 目	○交流人口を増やす施策の実施
現状課題	
施策の方向	
項 目	○若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが活躍できる地域社会の構築
現状課題	
施策の方向	

項 目	○内的豊かさを重視し豊かな自然と歴史、文化の伝承
現状課題	
施策の方向	
項 目	○「循環」をキーワードとして重視
現状課題	
施策の方向	
項 目	○対応から本格的国際都市へのシフト
現状課題	
施策の方向	
項 目	○コンパクト+ネットワークによる自立分散型社会の実現
現状課題	
施策の方向	

項 目	○オンリーワンを目指すプロジェクトの実施
現状課題	
施策の方向	
項 目	○
現状課題	
施策の方向	
項 目	○
現状課題	
施策の方向	
項 目	○
現状課題	
施策の方向	

※現状課題はこれまでの調書及び委員会の議論から各事務局で整理して記載

これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点

①挑戦でき、人をひきつけ投資を呼び込める環境の整備

[文化や伝統など確立されたものを大切にしつつ、新しいことに挑戦ができる環境、人を惹きつけ投資を呼び込める環境が発展につながる]

例えば、

- ・介護サービスの量と質の確保
- ・少子化対策

②人づくりによる人材の確保

[郷土愛を育てることで定着を図りながら、魅力ある教育の実践がより多くの人材の確保につながる]

例えば、

- ・介護人材の確保
- ・障害者の就労支援
- ・元気高齢者
- ・医療従事者の確保
- ・医療の提供

③交流人口を増やす施策の実施

[様々な人の受入れを進めるとともに、あらゆる施策で市民の満足度を高め、他所にいかなくてもすむ生活を実現すること、交流人口を増やすことが人口減少社会の対応につながる]

例えば、

- ・少子化対策
- ・地域医療連携と機能分担の推進

④若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが活躍できる地域社会の構築

[若者、子育て世代に選ばれるまちを目指すとともに、高齢者、障害者に優しく、誰もが活躍できる社会の構築が地域の発展につながる]

例えば、

- ・がん対策
- ・福祉コミュニティの構築
- ・自殺予防
- ・認知症支援
- ・障害者の相談支援
- ・地域生活支援
- ・地域の支え合いづくり
- ・高齢者の社会参加
- ・介護予防の推進
- ・高齢者の尊厳の保持
- ・子どもの成長
- ・保育サービスの充実
- ・災害医療
- ・在宅医療
- ・生活困窮者
- ・保育園等の充実
- ・学童保育の充実
- ・子育てに係る相談、支援の充実
- ・子育てに係る負担の軽減
- ・地域医療連携の推進と医療の機能分担
- ・救急医療体制の整備と高度医療への対応
- ・地域共生社会の構築

⑤内的豊かさを重視し豊かな自然と歴史、文化を伝承

[精神的な豊かさの実現を見直し、特有の自然、文化、歴史を大切にすることが地域の価値を高め、発展につながる]

例えば、

- ・ 障害者の就労支援
- ・ 元気高齢者

⑥「循環」をキーワードとして重視

[人やエネルギーなどの循環はもちろん、あらゆる施策で循環を意識することで円滑な社会の発展につながる]

⑦対応から本格的国際都市へのシフト

[地方都市においてはグローバル化、国際化への対応にとどまらず、より本格的な国際化に踏み込むことが創造的な社会づくりにつながる]

⑧コンパクト＋ネットワークによる自立分散型社会の実現

[コンパクトなまちづくりを進め中心市街地の空洞化の防止をはかるとともに地域の個性を活かすためネットワークの構築をはかることが自立分散型のまちづくりにつながる]

例えば、

- ・ 地域包括支援センター強化
- ・ 地域包括ケアシステムの構築
- ・ 仕事と子育ての両立支援

⑨オンリーワンを目指すプロジェクトの実施

[個性を重視し、質の高い未来志向のプロジェクトを実施することが具体的で市民にわかりやすい計画づくりにつながる]

これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点に対する
厚生専門委員会での協議・意見

項 目	○挑戦でき、人をひきつけ投資を呼び込める環境の整備
現状課題	
施策の方向	
項 目	○人づくりによる人材の確保
現状課題	
施策の方向	
項 目	○交流人口を増やす施策の実施
現状課題	
施策の方向	
項 目	○若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが活躍できる地域社会の構築
現状課題	
施策の方向	

項 目	○内的豊かさを重視し豊かな自然と歴史、文化の伝承
現状課題	
施策の方向	
項 目	○「循環」をキーワードとして重視
現状課題	
施策の方向	
項 目	○対応から本格的国際都市へのシフト
現状課題	
施策の方向	
項 目	○コンパクト+ネットワークによる自立分散型社会の実現
現状課題	
施策の方向	

項 目	○オンリーワンを目指すプロジェクトの実施
現状課題	
施策の方向	
項 目	○
現状課題	
施策の方向	
項 目	○
現状課題	
施策の方向	
項 目	○
現状課題	
施策の方向	

※現状課題はこれまでの調書及び委員会の議論から事務局で整理して記載